

火災警報器が鳴ったら・・・？



【行動例】

火災警報器が鳴ったら



火災警報器の鳴っている付近で、実際に火事がおきているか、すぐに確認が必要です。
(確認の際も十分注意して下さい)

警報に気づいたら、高齢者や子供、障害を持っている方は、その時点で避難しましょう。



本当に火災がおきている。消火？ 避難？

発見が早く気持ちに余裕があり、火が天井についていなければ、初期消火をします。備えておいた消火器などで消火します。また、高齢者など、運動能力に自信のない方は、とにかく「火事だ！」と叫んで外に逃げましょう。

※この段階で火災であることを周囲に119番通報を呼びかけましょう。
※消火できない場合は避難しましょう。

実際に火災警報器が鳴ったときの対処方法は？

「火災警報器を家庭に取り付けて、これでうちの防火対策は万全」・・・本当にそうでしょうか？実際に火災警報器が鳴ったら、どう動けばよいのでしょうか？つぎのような対処マニュアルを参考に、火災警報器が鳴ったらどうするか家庭で決めておきましょう。また日頃から火災がおきないように注意することもお忘れなく。



誤作動が確認できた。

もし誤動作であれば、火災警報器の警報音を止めて、家庭内や近隣に火災がおきていないことを知らせましょう。(完了)

行動3-1

- ❶ 日常から避難経路を確認しておきます。
(必ず2方向の避難経路を確保しましょう)
- ❷ マンションなどでは、エレベーターは使ってはいけません。
(途中で止まってしまうと、逃げるができなくなる場合があります)
- ❸ 上階にいる場合は、階段等で下へ逃げます。炎と煙は上の方が広がりが早いので、下へ向かい、外へ避難しましょう。
- ❹ 逃げる際は固く絞ったタオルで鼻と口を覆い、姿勢を低くして避難します。

消火は危険。早く避難しよう。



安全なところまで避難できた。

行動3-2

消火できそう！

- ❶ 家庭用消火器や、風呂の残り湯、水で濡らした布などを使って消火しましょう。(完了)
- ❷ もし消火中に天井に火が届くようになってきたら、消火器でも消火はむずかしくなります。すぐに避難するようにしましょう。

無事避難することができたら、消防署(119番)へ電話をします。

住所、何が燃えているか、けが人や逃げ遅れた人がいるか、目標になる建物などを消防署に伝えましょう。(完了)